

別れと出会い

飛島の桜も散り、観光シーズンがやってきました。1～4月まで勤務して頂いた池田渚さんが日本海病院に戻られました。4か月間でしたが島民からも親しまれ、「島にいてほしい、柱に縛っておく」「また来い!」と、皆様から暖かい別れの言葉をいただきました。

そして、新たに浅沼佑美さんが着任しました。この日の船には101名乗船しており、さすがGWです!

初めての飛島生活です。慣れないことも多いかもしれませんが、病院と違い新しい発見もある所だと思います。



飛島の桜



今年度飛島状況

**令和7年度人口動態 人口 134 人 後期高齢化率 53.4%
65 歳以上 80.8%**

4月から対面診療が始まり、島民にとっても医師から直接見てもらえることは安心に繋がっています。

高齢者のポリファーマシー



高齢者の場合、複数の病気があり、飛島の場合酒田と掛け持ちで複数の医療機関を受診しそれぞれで薬が処方されます。薬の飲み間違いがないよう、健康被害が出る前に訪問にて防いでいきます。



番外編

飛島の鳥たち ※撮影者：高梨（スマホのため解像度はごめんなさい）

激レア



ちょい
レア



普通



ヤツガシラ

島に4羽しかいない?!

診療所の前で撮影

今年はツイてるはず..

オオトリ

非常に素早い

撮影に仕事より苦勞した

幸せの青い鳥?

ハトのなにか

足に番号が付いている

レース中らしい

シラサギ

よく見かける

東北大学の学生に写真
みせてシラサギと教
えてもらいました



問題 上の写真は高梨看護師が薬の配達中のものです。この後に起こった出来事は何でしょう。

1. 撮影中の看護師がわかめに滑って転んだ。
2. カメに遭遇して網に絡まっているのを助けた。
3. この先に神社があったが、こまいぬが10体いた。
4. 薬の袋が風で飛んでしまった。

正解は次号に掲載!